



2022年10月分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH

東京税関羽田税関支署

羽田空港貨物取扱量

総取扱量は9ヵ月連続減、積込量は10ヵ月連続減、取卸量は8ヵ月連続減

概要

2022年10月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

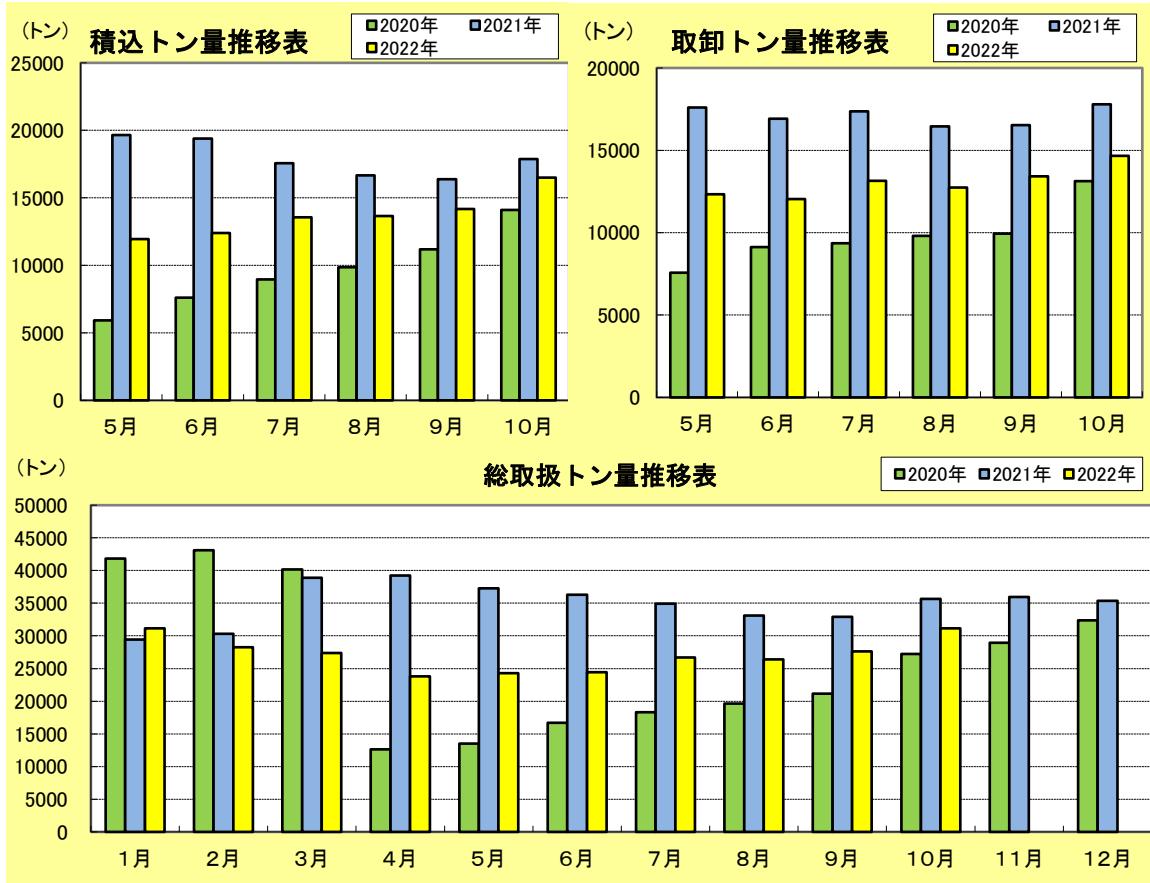
総取扱量 31,168トン(前年同月比 12.6%減)

積込量 16,496トン(同 7.7%減)

取卸量 14,672トン(同 17.6%減)

となり、前年同月比でみると、総取扱量は9ヵ月連続、積込量は10ヵ月連続、

取卸量は8ヵ月連続でマイナスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（羽田税関支署）の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課（TEL050-5533-6971）まで。



地域別通関動向

● 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田 地域 通関 919トン(前年同月比 23. 3%減、シェア 11. 1%)

その他地域通関 7, 385トン(同 15. 1%減、 同 88. 9%)

となり、前年同月比でみると、羽田地域通関は8ヵ月連続、その他地域通関は9ヵ月連続でマイナスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田 地域 通関 4, 003トン(前年同月比 20. 4%減、 シェア 46. 5%)

その他地域通関 4, 597トン(同 24. 7%減、 同 53. 5%)

となり、前年同月比でみると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、8ヵ月連続でマイナスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 8, 192トン(前年同月比 2. 7%増)

取卸量 6, 072トン(同 9. 0%減)

となり、前年同月比でみると、積込量は11ヵ月ぶりにプラス、取卸量は10ヵ月連続でマイナスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2022年10月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 963トン(前年同月比 9. 7%減、 シェア 24. 1%)

ドライ貨物 3, 040トン(同 23. 3%減、 同 75. 9%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等31. 6%(前年同月比16. 3%減)、水産物17. 7%(同42. 2%減)、果物18. 9%(同57. 9%増)、植物(切花等)17. 6%(同43. 7%増)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2022年10月			2021年10月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	4, 003	79. 6%	100. 0%	5, 029	129. 8%	100. 0%
生 鮮	963	90. 3%	24. 1%	1, 066	121. 4%	21. 2%
ドライ	3, 040	76. 7%	75. 9%	3, 963	132. 2%	78. 8%